

学校教育目標「楽しい学校」 ・ 確かな学び ・ 豊かな心 ・ すこやかな体
重点目標「思いを届けよう」

学校だより
1月号

あ さ ひ こ
朝 日 子

令和5年1月6日発行
伊東市立西小学校



有終の美をめざして

校長 小形 丈晴

あ
明けましておめでとうございます。

いよいよ、西小学校での授業日数は残すところ48日となりました。子どもたちは、4月からの統合に向け、この1年間、1年生から5年生までは東小・旭小の仲間と交流を重ね、少しでも不安を取り除き、期待感を膨らめてきました。また、6年生は閉校に向け、在校生に西小への思いを問いかけ、その思いを見える形で届けてくれています。

児童玄関には、6年生が用意した模造紙に、子どもたちが思い思いに「西小で頑張ったこと」「西小での思い出」などを付箋に書きだし、掲示がなされてきました。3学期には「西小の好きな場所」「楽しかった行事」「伊東小学校または中学校でしたいこと」「全校のみんなに一言」と続いています。

児童会でも、西小学校の自慢として挨拶運動を広げようと、「ペコッシー」というキャラクターを生み出し、挨拶ビンゴを計画・実行したり、知らない人にも挨拶しようと働きかけたりしてきました。

また、心が優しく温かくなる“ふわふわ言葉”を推奨し、「ファッシー」というキャラクターも考え出し、“ふわふわ言葉”が溢れる学校にしてみました。

さらに、コロナに負けない丈夫な体を作るために、「スポッシー」というキャラクターも登場し、進んで外に出て運動するように働きかけました。子どもたちのアイデアは素晴らしく、まだまだ学校がよくなっていきそうです。

「学校は楽しいよ！」



(左から)ペコッシー、ニッシー、スポッシー、ファッシー

私たち教職員一同は、子どもたち一人一人が、新年度には新しい場所で、より一層輝いていけるために、西小としての残りの日々を大切に、今まで培ってきた力にさらなる磨きをかけていけるよう、支援・指導を続けていきます。加えて、家庭や地域の方々のご理解・ご協力も引き続きよろしくお願いします。

令和4年度 第32回伊東市善行賞受賞者の紹介



個人賞として、3年生の山本惟吹さんが選ばれました。惟吹さんは、毎朝、児童玄関であいさつ活動を行っています。2年生のときから自主的に1人で活動を始め、現在も継続して行っています。惟吹さんの姿を見た他の児童が加わり、一緒にあいさつ活動をすることもあります。

伊東市の重点であり、本校の児童会目標の1つでもある「気持ちのよいあいさつ」を心がけ、継続して活動している姿や、周囲の児童により影響を与え学校の雰囲気明るくしていることが評価されました。